

|                |   |             |  |                  |                  |                     |    |
|----------------|---|-------------|--|------------------|------------------|---------------------|----|
| <b>科目コード</b>   | 61211   | <b>授業科目</b> | 地域・精神保健看護特論Ⅱ<br>Community and Mental Health and<br>Psychiatric Nursing TheoryⅡ |                  | <b>担当<br/>教員</b> | ○川崎道子、<br>大湾明美 新城正紀 |    |
| <b>開講年次</b>    | 博士後期課程<br>1年次前期   | <b>単位数</b>  | 2単位  | <b>科目<br/>分類</b> | 専門科目・特論          | <b>授業<br/>形態</b>    | 講義 |
| <b>選択必修</b>    | 選択（分野必修）  | <b>時間数</b>  | 30時間   |                  |                  |                     |    |
| <b>授業概要</b>    | 精神保健医療福祉の基礎的知識を持ち、多様な地域と文化の中における精神保健の現状把握・問題発見・解決・精神健康の維持促進等についての課題を分析評価する能力を養う。また、実践の場や教育・研究において、自立して優れた看護実践の指導的な立場に立てる人材の育成および広く学際的な知識を持つ研究者・教育者を育てる。また、地域保健看護領域の現状より課題を把握し研究的視点で分析できるなど研究者としての視点を身につける。  |             |  |                  |                  |                     |    |
| <b>到達目標</b>    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本・世界各国の精神保健看護の現況を把握し、精神保健看護が直面する今日の課題を広く深く認識し、課題解決に応用できる理論や実践方法について学び、検討を深めることが出来る。</li> <li>2. 精神保健看護領域における学問的な進歩を常に敏感に捉え、最新の理論や治療方法などの状況を把握し、その中で精神看護に応用出来る知識・方法・技術の実践可能性を吟味し習得する。</li> <li>3. 精神保健看護に必要な最新の研究方法を常に学び、応用できる能力を養う。</li> <li>4. 地域保健看護活動における健康課題解決を活動方法、施策化、地区組織育成の視点から分析し成功要因を記述できる。</li> <li>5. 4を踏まえて地域保健看護領域の研究の動向を活動方法などの視点から整理し、研究Ⅱへ繋ぐことができる。</li> <li>6. 地域保健看護活動、研究活動上の倫理的問題を理解し実践につなぐことができる。</li> </ol> |             |  |                  |                  |                     |    |
| <b>講義回数</b>    | <b>授業内容及び計画</b>   |             |  |                  |                  | <b>担当者名</b>         |    |
| 第1～3回          | 日本・沖縄・世界各国の精神保健看護の現状と問題点の分析   |             |  |                  |                  | 川崎道子                |    |
| 第4～6回          | 精神保健看護関連領域の研究の最新の情報について   |             |  |                  |                  | 大湾明美                |    |
| 第7回            | 精神保健看護と社会・文化的・倫理的問題   |             |  |                  |                  | 新城正紀                |    |
| 第8～10回         | 日本・沖縄・諸外国の地域保健看護活動の現状と課題の分析   |             |  |                  |                  |                     |    |
| 第11～13回        | 地域保健看護領域の研究の動向について  |             |  |                  |                  |                     |    |
| 第14回           | 地域保健看護活動における倫理的問題   |             |  |                  |                  |                     |    |
| 第15回           | まとめ   |             |  |                  |                  |                     |    |
| <b>テキスト</b>    | 講義開始時に提示する。   |             |  |                  |                  |                     |    |
| <b>参考文献</b>    | 随時資料・文献を用いて行う。  |             |  |                  |                  |                     |    |
| <b>成績評価の方法</b> | 評価は、授業への参加状況と発言・討論内容・授業態度・レポート・テスト等を統合して行う。   |             |  |                  |                  |                     |    |
| <b>備考</b>      |   |             |  |                  |                  |                     |    |

|                |  |             |  |                  |                  |                    |                      |
|----------------|--|-------------|--|------------------|------------------|--------------------|----------------------|
| <b>科目コード</b>   | 61221  | <b>授業科目</b> | 地域・精神保健看護特別研究Ⅱ<br>Community and Mental Health and<br>Psychiatric Nursing Special Study Ⅱ |                  | <b>担当<br/>教員</b> | ◎川崎道子<br>大湾明美、新城正紀 |                      |
| <b>開講年次</b>    | 博士後期課程<br>1～3年次  | <b>単位数</b>  | 8単位  | <b>科目<br/>分類</b> | 専門科目・特別研究        | <b>授業<br/>形態</b>   | 演習                   |
| <b>選択必修</b>    | 選択（領域必修）   | <b>時間数</b>  | 240時間  |                  |                  |                    |                      |
| <b>授業概要</b>    | 地域及び精神保健看護領域において院生自ら研究課題を設定し、文献検討、研究対象と方法、技法を選択し、データを収集し、結果を分析し、考察して論文を完成し、自立した研究者となることを学習する。あるいは卓越した実践者として必要なコンピテンシーを探究し、地域で学際的アプローチをとれ、リーダーシップを発揮できるとともに、地域保健看護における問題解決および支援方法を実証的に探究する。   |             |  |                  |                  |                    |                      |
| <b>到達目標</b>    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自立して、研究プロセスを遂行できる。</li> <li>2. 専門領域においてオリジナリティのある卓越した論文を完成できる。</li> <li>3. 教育研究者・実践者としてふさわしい学問する態度を身につけることができる。</li> <li>4. 教育研究者・実践者としてふさわしい倫理的態度を身につけることができる。</li> <li>5. リーダーシップを身につけ、学際的チームの中で貢献できる。</li> <li>6. 学問及び卓越した実践を通して社会的貢献ができる。</li> </ol> |             |  |                  |                  |                    |                      |
| <b>講義回数</b>    | <b>授業内容及び計画</b>  |             |  |                  |                  |                    | <b>担当者名</b>          |
| 1年次            | <p>4月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション<br/>研究指導教員希望届の提出・決定＊<br/>履修指導、履修届の提出＊</p> <p>関心あるテーマ周辺の文献探索と検討<br/>研究テーマの明確化・研究計画書作成</p> <p>毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討＊<br/>研究倫理審査申請＊<br/>研究フィールドの依頼と決定<br/>データ収集・分析</p>   |             |  |                  |                  |                    | 川崎道子<br>大湾明美<br>新城正紀 |
| 3年次            | <p>11月（5月）仮テーマの提出＊<br/>主査・副査の決定<br/>考察・論文作成</p> <p>12月（6月）博士論文 第1稿・学位審査申請書の提出＊<br/>1月（7月）中間発表会＊<br/>博士論文 最終稿 の提出＊</p> <p>2月（8月）論文審査・最終試験＊<br/>合否および修了判定</p> <p>3月（9月）公開発表会＊<br/>博士論文 保存版 の提出＊</p> <p>※（ ）内は、前学期修了者の日程</p>  |             |  |                  |                  |                    |                      |
| テキスト           | 関連資料、文献などを適宜配付する。  |             |  |                  |                  |                    |                      |
| <b>参考文献</b>    | 必要に応じ、文献・資料を紹介し検討する。   |             |  |                  |                  |                    |                      |
| <b>成績評価の方法</b> | 審査委員会により論文審査および最終試験（口頭または筆答による）を行う。  |             |  |                  |                  |                    |                      |
| <b>備考</b>      | 注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。<br>◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。  |             |  |                  |                  |                    |                      |